

Young Adult Books

2021.10



Best

～開いてみよう、秋の夜長に理系本～

今年は月に人類が初めて降り立って60年。何より秋から冬にかけては月や星がきれいに見えますね。そんな夜長に普段はなかなか手がのびない天文学系の本と天文学とは切っても切れない数学の本を手にとってみませんか？

Astronomy(天文学)



「月のえくぼを見た男 麻田剛立」
作家 鹿毛敏夫 (Y289.1 ア)

麻田剛立は 1734 年に今の大分県で、伊能忠敬は 1745 年に今の千葉県で生まれました。普通に暮らしていれば何の接点もない二人ですが幼い頃から算術(数学)が大好きで、それが天文学へ興味を抱ききっかけになりました。麻田が研究して、それを伝えた弟子の高橋全時たかはしよしときが、のちに江戸で伊能忠敬に出会い、天文学に基づく測量術を伝えました。そのことによってあの有名な「大日本沿海輿地全図」が完成するきっかけになったのです。算術がつながると人の出会いです。ちなみに、今年2021年は「大日本沿海輿地全図」完成より200年目です。

「天と地を測った男 伊能忠敬」
作家 岡崎ひでたか (Y289.1 ア)

「アームストロング
宙飛ぶネズミの大冒険」
作 トーベン・クールマン (E ク)

1969年、アームストロングが人類で初めて月に降り立ちました。しかし!なんとその14年も前に小さなネズミが月旅行に成功していたのです。最初は仲間のネズミたちに相手にもしてもらえなかった宇宙の話でしたが、研究を重ねて夢をかなえたネズミのお話です。巻末には宇宙飛行の簡単な歴史も載っています。

Math(数学)



「この数学、
いったいつ使うことになるの?」
原著者 ハル・サンダース (Y410 サ)

数学が苦手な人にとって、「いつ使う日が来るのか」という疑問はいつの時代も同じです。でも、知らないうちに使っているのですよ。大人になったら。今悩んでいる君たちに、どうか食わず嫌いやから抜け出してほしいと思って選んだ本です。様々な職業に使う数学が紹介されています。月に行くのも、日本地図を作るにも数学が必要なのですよ。



「無限の中心で」
まはら三桃 / 著 (YF マハ)

「サマーウォーズ」
岩井蕨平 / 著 (BF イワ)
どちらも数学オリンピックがキーワードになる高校生のお話です。無限に広がる数学の可能性が描かれます。



「雪は天からの手紙」
中谷宇吉郎エッセイ集

編者 池内了 (YF404 ナ)
雪の結晶に魅せられた物理学者のエッセイ。科学のおもしろさやほかの科学者との交流を綴ります。文章がとてもきれいですよ。

水巻町図書館